

フォーカス FOCUS



病院では毎年さまざまな職種のスタッフが入职し、働いています。これからたくさんの知識と経験を積み、雲南市立病院というステージで患者さんのために活躍していく新入職員にフォーカスし、それぞれの担当業務や仕事への思いなどを紹介します。

新入職員紹介

住民の皆さんが健やかに自分らしく生活できるように支援できる保健師をめざして

保健推進課 保健師

あがわ みゆ
阿川 美優



入職1年目

保健師をめざしたきっかけは？

幼い頃から病院に行くことも多く、医療職に就きたいと思っていました。

保健師をめざそうと思ったきっかけは、看護実習の時に、「早く病院に行っていればよかった」、「健康に気を付けておけばよかった」という患者さんの声を聞いたことです。そして、その前段階である予防に携わりたい仕事をしたいと思い保健師をめざしました。

雲南市立病院の魅力はなんだと思いますか？

健康診断を受けた当日に保健指導があり、必要があれば直接受診につなげることができることであると思います。検診を受けることだけでなく、その後も大事であるため、医療が必要な人をつなげることができる環境があることは魅力の一つであると思っています。

仕事には慣れましたか？

入职して7ヵ月があっという間に過ぎました。分からないことばかりで勉強の毎日です。この7ヵ月で健診業務をはじめ、健康教室や出前講座などの経験をし、その中で先輩方からさまざまなことを教わり、仕事に慣れていくことができました。



採血の様子



問診の様子

職場の雰囲気はどうですか？

明るく、和気あいあいとした雰囲気です、楽しく仕事をしています。

分からないことも聞きやすく、何か課題があると課内で話し合い、解決できる環境が整っており、とても働きやすいです。

仕事をするうえで嬉しかったことはありますか？

健康教室や出前講座で参加者の方が満足そうに帰られたときや、健康に少しでも関心をもってもらうことができたときはとてもうれしいです。

今後の目標を教えてください

保健指導はまだしていませんが、今後指導していく上で、対象者が少しでも自分の健康に興味をもち、健康の維持・増進できるように支援できるようになることが目標です。

私のとある一日

- 8:30 出勤
健診業務（問診）
- 12:00 休憩
- 13:00 集団予防接種準備
（インフル・新型コロナ）
- 13:30 集団予防接種（前半）
- 15:00 集団予防接種（後半）
- 16:15 片付け
事務作業
- 17:15 退勤



新年のごあいさつ



雲南病院だより



病院事業管理者 大谷 順

新年あけましておめでとうございませう。市民の皆様には、日頃より当院へのご理解とご支援を賜り、有難うございます。新年を迎えるにあたり、ごあいさつ申し上げます。

今年、「2025年問題」に向けて国が進める地域医療構想の目的の年を迎えます。地域全体で適切な医療体制の整備が進んでいますが、すでにその先にある「2040年問題」も見据える必要が出てきました。2025年問題は、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になり、医療・介護の必要度が急増するという課題ですが、2040年問題は、人口減少と少子高齢化がさらに進み、医療・介護を支える現役世代の働き手が減少すること、社会全体の持続可能性が問われるという課題です。言い換えれば2025年問題は「医療・介護の受け皿づくりの問題」、2040年問題は「医療・介護の支え手確保の問題」とも言えます。

こうした変化は皆様の日々の生活にも少なからず影響を与えます。特に、地域での支え合いや健康管理の意識を高め、生活の質を保ちながら医療資源を賢く使うことが求められるでしょう。

「生活の質」と言えば、近年「Well-being」という言葉が随所で見聞きされるようになってきています。これは個人の健康や幸福、生活の質を総合的に捉える概念で、住民が幸福を感じることでできる地域には人が住み続け、移住も期待できるということから、少子高齢化、人口減少への対策としても注目されている概念です。これは日本語に置き換えると「いい塩梅」ということでしょうか。

当院では、昨年4月に「雲南市未来型連携推進センター」を設立しましたが、このセンターの目的は、市内の医療、介護に携わる施設やスタッフを有機的に結び付け、医療・介護の狭間に誰一人取り残されないための仕組みづくりをすること、まさにウェルビーイングの実現に取り組み部署です。

新年あけましておめでとうございませう。本年が皆様にとって、良い年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年、元日の能登半島地震から始まり、8月の宮崎県で発生した地震に伴い南海トラフ地震の臨時情報が発表されました。また台風、災害級の豪雨で、日本各地で大きな混乱と被害が生まれました。このような自然災害は、いつ我が身に降りかかるかわかりません。出雲の神様が守ってくれるはずですが、我々も日頃からの災害への準備、防災の意識が必要だと思います。



院長 西 英明

さて病院で起こる医療事故（医療現場で発生する人身事故全般）・医療過誤（医療事故のなかで、医療機関、医療従事者の過失によるもの）は、災害と同じで、いつどこで発生するかわかりません。もちろん医療事故・医療過誤は起きない・起こさないことが大前提ですが、起りえます。そのため発生を最小限にする工夫と、人的被害を最小限にする準備が必要です。

医療過誤を除く医療事故は病院で起こる医療事故（医療現場で発生する人身事故全般）・医療過誤（医療事故のなかで、医療機関、医療従事者の過失によるもの）は、災害と同じで、いつどこで発生するかわかりません。もちろん医療事故・医療過誤は起きない・起こさないことが大前提ですが、起りえます。そのため発生を最小限にする工夫と、人的被害を最小限にする準備が必要です。

今後雲南市立病院は、さらに医療安全体制を強化し、近隣住民の皆様にも、安心して受診していただける病院、また安全・安心の医療を提供できる病院をめざして、精進してまいります。今年も雲南市立病院をよろしく願っています。

総合診療医が答える

「こんな症状や疑問 持っていませんか？」

第52回：「スマートフォンの使い過ぎは心臓病になりやすい」

このシリーズでは総合診療医が患者さんからいただいた質問をもとに市民の皆さんが困っている症状や疑問について解説します。



先日いただいた質問はこれです。

「スマートフォンの使い過ぎは、健康に悪いですか」

現在、スマートフォンの普及は圧倒的で、日本の人口の90%以上がスマートフォンを所有しています。一方で、その使用が健康にどのような影響を与えるのかは明らかになっていませんでした。

実は、最近の研究では、**「スマートフォンの使い過ぎが、心臓病につながっている可能性があること」**が明らかになっています。

スマートフォンの使い過ぎによって、睡眠時間やその質の低下、精神的ストレスの増加、神経衰弱につな

がるのが原因のようです。これは若年や中年の方だけでなく、高齢の方にも当てはまるデータのように。さらに、スマートフォンの使い過ぎは運動量の低下にもつながり、心臓病以外の慢性疾患にもつながりそうですね。

スマートフォンはとても便利ですが、自分の健康を考えながら、健全な使い方を身に付けていきたいですね。

では、引き続き健康に気を付けながら健やかにいきましょう。



雲南市立病院職員 現在募集中!!

◇試験区分、採用予定人数および受験資格

採用は看護師、薬剤師は令和6年度中または、令和7年4月1日の予定です。言語聴覚士、一般事務職は、令和7年4月1日の予定です。

試験区分	採用予定人数	受験資格
看護師	若干名	昭和59年4月2日以降に生まれた方で、看護師の免許を有する方（免許取得見込みの方含む）
薬剤師	若干名	昭和59年4月2日以降に生まれた方で、薬剤師の免許を有する方（免許取得見込みの方含む）
言語聴覚士	1人	平成6年4月2日以降に生まれた方で、言語聴覚士の免許を有する方（免許取得見込みの方含む）
一般事務職（行政職）	若干名	平成7年4月2日以降に生まれた方で、高校卒業程度の学歴を有する方

◇会計年度任用職員（フルタイム・パート）

職種	募集人数	資格等
看護師	若干名	看護師免許を有する方
調理師（員）	若干名	
看護補助者	若干名	

※詳細をハローワークに掲載しています。

募集期間、試験日時などの詳細は、雲南市立病院ホームページ（<https://unnan-hp>）に掲載しているほか、雲南市立病院 総務課人事係（Tel：0854-47-7532）までお問い合わせください。

マイナンバーカードの保険証利用 （マイナ保険証）について



令和6年12月2日から現行の健康保険証は発行されなくなり、マイナ保険証が基本となりました。

令和6年12月1日より前に発行された健康保険証は最長1年間、その有効期限が切れるまで使えます。お手元の健康保険証の有効期限をご確認ください。

健康保険証の有効期限が切れたあとは、「資格確認書」が交付されます。ただし、マイナ保険証を持っていない方に限定されます。「資格確認書」は今の健康保険証と同じように医療機関の窓口で見せるだけで使えます。

マイナンバーカードでの保険資格確認

①確認方法

現行の健康保険証による保険資格確認は、1ヵ月に1回、診察終了後、4番窓口で行ってました。今後マイナ保険証での保険資格確認は、**毎回、受け付け時に、再来受付機横**に設置してある顔認証付きカードリーダーで、患者さん自身で行ってください（確認方法が分からないときは、病院スタッフに声を掛けてください）。

②カードリーダーの設置場所



再来受付機横に設置しています

③受け付けの順番



①マイナ受付
↓
②診察受付
の順にお願いします。

④カードリーダーの使用方法

雲南市立病院
マイナンバーカード
各種医療費受給者証
ここに置いてください

マイナンバーカードを置いてください

マイナンバーカードの読取

顔認証または暗証番号を選択

顔認証の場合

顔認証

完了しました

マイナンバーカードを取り出し、受付窓口までお越しください。

完了画面

個別同意の場合は複数の質問が表示されます。